

(K E M S 産業廃棄物処理業事例)

環境活動レポート

200X年版

200×年×月×日
株式会社

事業の概要

1. 事業者名及び代表者氏名

株式会社

代表取締役

2. 所在地

本社：兵庫県神戸市 区××町 ×番地

中間処理施設：兵庫県××市 区××町 ×番地

型最終処分施設：兵庫県××市 区××町 ×番地

収集運搬車駐車場：兵庫県××市 区××町 ×番地

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者

担当者

連絡先 電話 ×××××××××× FAX ××××××××

4. 事業の規模

資本金 , , 円

売上高 , 百万円

従業員数 名

敷地面積 本社： 平方メートル

収集運搬車駐車場： 平方メートル

中間処理施設： 平方メートル

最終処分施設： 平方メートル

延床面積 本社事務所： 平方メートル

5. 事業内容

(1) 事業範囲

産業廃棄物の収集運搬業

産業廃棄物の中間処理・再生業

産業廃棄物の最終処分業

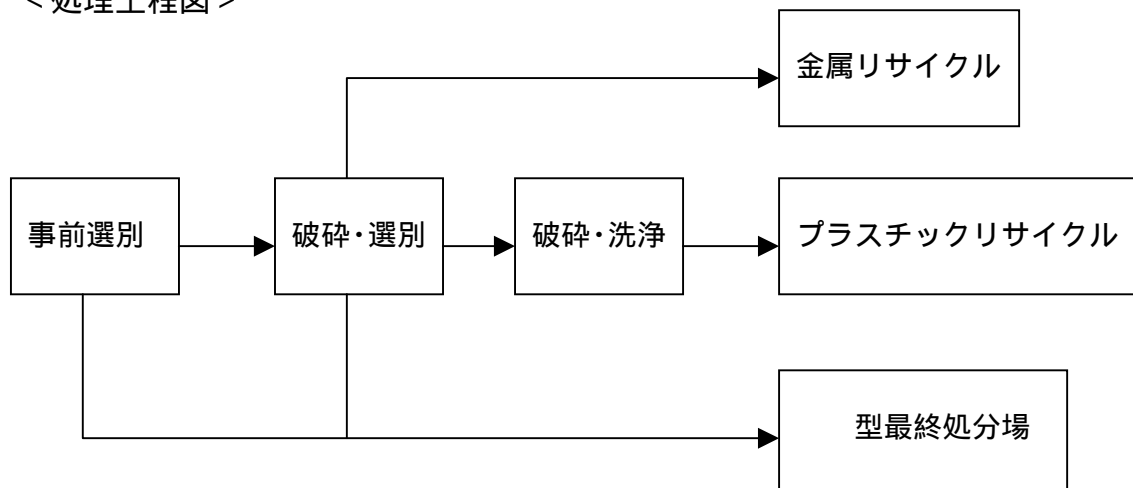
(2) 許可の内容

事業計画の概要	事業の範囲	許可番号	許可年月日	有効年月日	自治体名
産業廃棄物中間 処理業	廃棄物の種類：金属屑、 ガラス屑、廃プラスチック類 中間処理：選別、破碎、 圧縮	××××	年 月	年 月	市
産業廃棄物最終 処分業	埋立	××××	年 月	年 月	市
産業廃棄物収集 運搬業	廃棄物の種類：金属屑、 ガラス屑、廃プラスチック類	××××	年 月	年 月	市 県

(3) 施設等の状況

処理施設の種類	廃棄物の種類	処理能力	処理方式
事前選別施設	金属屑、ガラス屑、廃プラスチック類	パワーショベル： t / 日 タイヤショベル： t / 日	
破碎・選別施設	金属屑、ガラス屑、廃プラスチック類	破碎機： t / 日 選別プラント： t / 日	選別 - 破碎 - 選別
破碎・洗浄施設	廃プラスチック類	t / 日	選別 - 破碎 - 洗浄 - 脱水
型最終処分場	金属屑、ガラス屑、廃プラスチック類	面積： m ² 容量： m ³	陸上埋立
運搬車両	金属屑	ダンプ： 台	
運搬車両	金属屑、ガラス屑、廃プラスチック類	コンテナ専用車： 台	

< 処理工程図 >



(4) 処理実績

種類	単位	200*年度	200#年度	200 年度
産業廃棄物処分量	t			××××
廃棄物再生処分量	t			×××
産業廃棄物収集運搬量	t			××××

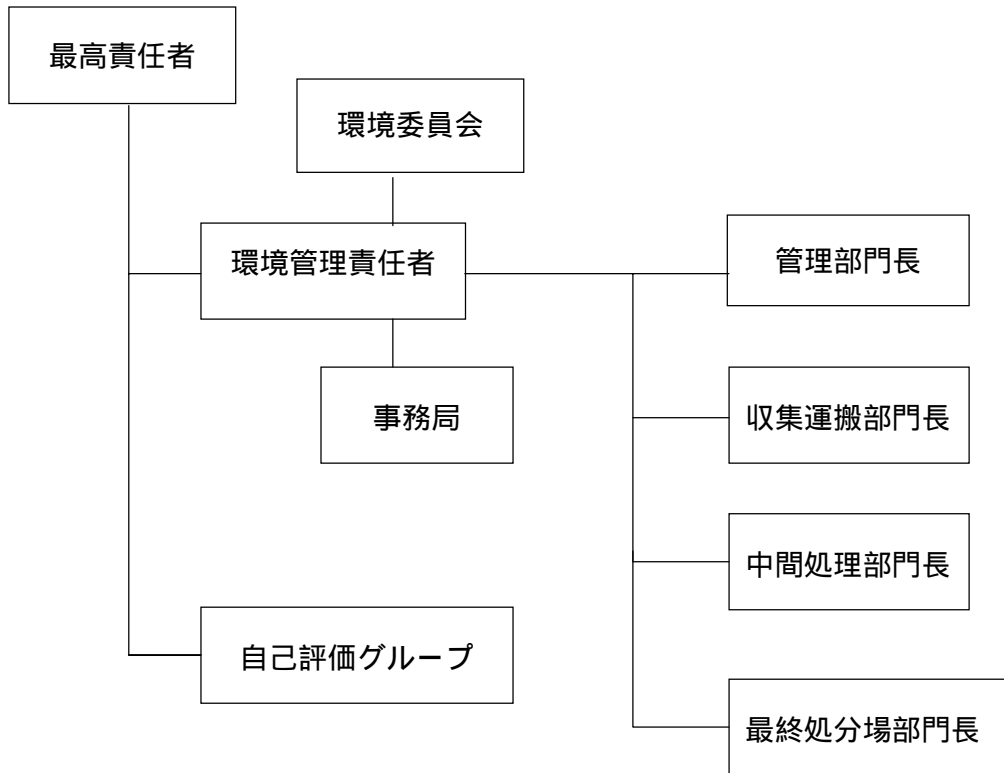
(5) 廃棄物処理料金

料金の提示：見積書による。現物、性状確認後見積書作成。

6 . 沿革

年×月設立

環境マネジメント推進体制



環境マネジメントシステム認証取得内容

審査登録機関：こうべ環境フォーラム

登録種類：KEMSステップ2

登録日：200×年 月

登録番号：KEMS2 - ××××

環境目標とその実績

1. 200×年度目標と実績

区分	年度目標	単位	目標値	実績値	評価
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量 %削減 (200 年度比) 売上100万円当り	kWh / M円			
二酸化炭素排出量の削減	収集運搬車両燃費 %向上 (200 年度比)	km /	.	.	
廃棄物排出量の抑制	産業廃棄物再資源量 %増加 (200 年度比)	kg			
総排水量の抑制	水使用量 %削減 (200 年度比)	m ³			
省資源化	事務用紙使用量 × % 削減 (200 年度比)	A4 換算 枚数			
グリーン調達の推進	事務用品のエコ製品 購入率 %向上	%			

(注) 評価欄 : 目標達成、 : 目標やや未達、× : 目標未達

2. 過去3年間の実績

項目	単位	200*年度	200#年度	200 年度
電力使用量	kWh / M円			××××××
収集運搬車両燃費	km /	.	.	××.×
産業廃棄物再資源量	kg			×××
水使用量	m ³			××
事務用紙使用量	A4 換算 枚数			×××××
事務用品のエコ製品 購入率	%			××

主要な環境活動計画の内容

1. 二酸化炭素排出量の削減(電力使用量 %削減)
 - ・設備空転時の電源停止
 - ・エアコン設定温度・運転の適正管理
 - ・休憩時間の消灯
 - ・トイレ等の不必要な電灯の消灯
 - ・エアコンプレッサーの圧力適正化
 - ・破碎機の処理量の適正化
2. 二酸化炭素排出量の削減(収集運搬車両燃費 %向上)
 - ・アイドリングのストップ
 - ・エアフィルターの定期清掃
 - ・タイヤ圧の適正管理
 - ・経済速度での運転
3. 廃棄物排出量の抑制(産業廃棄物再資源量 %増加)
 - ・廃棄物の分別方法の決定
 - ・こまめな分別後の廃棄
 - ・廃棄物再利用先の拡大(再資源化の推進)
4. 総排水量の抑制(水使用量の %削減)
 - ・絞り弁の採用
 - ・雨水の利用
 - ・使用水の再循環利用
 - ・蛇口への節水コマ取付
5. 省資源化(事務用紙使用量の×%削減)
 - ・両面コピーの活用
 - ・裏面の再利用
 - ・パソコン、電子メールの活用
6. グリーン調達の推進(事務用品のエコ製品購入率 %向上)
 - ・エコ商品カタログの活用
 - ・エコ商品への切替の推進

環境活動の取組結果の評価

1. 電力使用量 %削減：
照明・空調・設備電源それぞれについて、具体的取組が徐々に浸透して、目標値を達成できました。気を緩めず、さらに具体的対策を見直し、全員に徹底するよう務めます。
2. 収集運搬車両燃費 %向上：
関係職員全員に対するエコドライブの教育と車番毎の燃費実績管理が効果を発揮し、目標を達成することが出来ました。今後さらに意識の向上を図り、エコドライブを社内に定着させます。

3. 産業廃棄物再資源量 %増加：
分別の徹底と廃棄物の再利用化が効果を発揮し、大幅に目標を上回る成果を出せました。中でも、
については再利用化が可能になりました。今後さらに再利用化の努力を続けます。
4. 水使用量の %削減：
ジョウクラッシャーからの発塵防止に使用していた水道水に対し、雨水を混合することで、また、散水方法の改善と絞り弁の採用により水の使用量の削減を図りました。場内からの出口に設けている車両のタイヤ洗いピットには、従業員の入浴に使用した後の風呂水を使用し、使用水の再循環利用を図ることが可能となり、今後、使用水の削減効果が出てくると期待できます。
5. 事務用紙使用量の × %削減：
両面コピーの活用、裏面の再利用等の取り組みは徹底されましたが、売上増に伴う作成書類の増加もあり、目標を達成できませんでした。不要な書類を作成していないか、部数は適切かなど書類作成のあり方について見直し、より根本的な対策を検討します。
6. 事務用品のエコロジー製品購入率の %向上：
最近事務用品のエコロジー製品が大幅に増えていますので、対象品目を決めて、意識的に取り組むことで目標を達成できました。コストアップと環境貢献との兼ね合いに注意しながら、今後さらにその範囲を広げるよう務めます。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 適用となる主な環境関連法規
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法
2. 違反訴訟等
環境関連法規の順守状況について定期評価をした結果、法規制からの逸脱は認められません。過去3年間、関係機関等から違反について特に指摘はありません。また、訴訟等も同様にあります。

以上